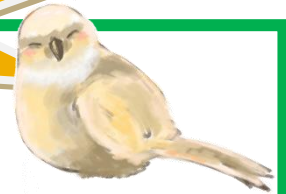




- ★ 笹塚図書館リニューアルオープン！
- ★ 春の「図書館フェア」写真で見る特別展示の様子
- ★ 笹塚の歴史
- ★ 私のおすすめの1冊！
- ★ 6月・7月の行事予定表

笹塚図書館リニューアルオープン！



4月1日、笹塚図書館は笹塚1-47-1メルクマール京王笹塚4階にてリニューアルオープンしました。移転休館中は、ご不便をおかけしました。オープン初日は約5,700人と多くの方にご来館いただきました。

これからも笹塚図書館はみなさまのニーズに応えられる図書館づくりを目指してまいります。みなさまのご来館お待ちしております！



笹塚駅を出てすぐ、商業施設「フレンテ笹塚」の上、4階に図書館があります。

広々としたワンフロアの図書館。
車いすの方でもゆったりとご利用いただけます。
お読みにになりたい本を自由に手に取ってご覧ください。



閲覧席は35席です。(うち、車いす優先席1席)
南向きの窓からは渋谷区の景色がひろがります。
渋谷駅前の「ヒカリエ」が見えることも？

貸出手续の済んだ本は、隣にあるテラス
で読むこともできます。
天気のいい日は気持ちよく
読書をすることができます！



*渋谷区立図書館ホームページ
<http://www.lib.city.shibuya.tokyo.jp/>
ホームページから資料の予約ができます。

●渋谷区ホームページ
<http://www.city.shibuya.tokyo.jp/>



春の図書館フェア

写真で見る 特別展示の様子

渋谷区立図書館の各図書館では、『春の図書館フェア』として、「子ども読書の日」（4月23日）の前後に各種行事を実施しました。今号では、特別展示の様子をご紹介します。



↑大きくなったら... (中央)



↑未来を考えたことある? (笹塚子ども)



↑チャレンジ!・スタート! (笹塚)



↑さあ、冒険だ! (西原)



↑ほんのふくぶくろ (渋谷)



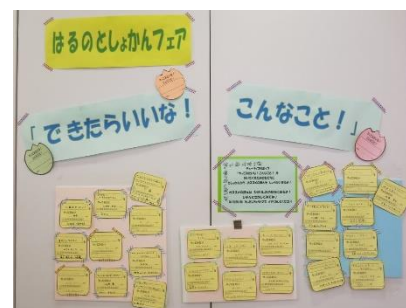
↑あこがれのヒーロー (富ヶ谷)



↑君たちへのメッセージ (代々木)



↑世界で活躍する日本人 (本町)



↑できたらいいな!こんなこと!
(こもれび大和田)



↑みんなのふくぶくろ (臨川みんなの)

統一テーマ

未来へはばたけ

笹塚の歴史

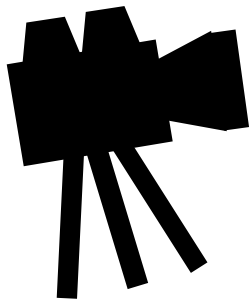
昭和50年2月、渋谷区で4番目に開館した旧笹塚図書館は平成27年3月15日に惜しまれながら閉館を迎え、同年4月1日より笹塚駅前のメルクマール京王笹塚の4階にてリニューアルオープン致しました。近年ますます盛り上がりを見せている笹塚地区ですが、その昔は一体どのような町だったのでしょうか？今回は笹塚を少しでも知って頂けるよう、町の歴史をご紹介します。笹塚が現在のような賑やかな町になるまでの歴史を感じてみながら、あらためて笹塚の町を散策するのはいかがでしょうか。

写真所蔵：渋谷区広報課

参考文献：「ふるさと渋谷の昔がたり」渋谷区教育委員会・「渋谷区の歴史」林 陸朗ほか・

「しぶや散策まっぷ」渋谷区企画部広報課・「新修 渋谷区史」渋谷区・

「特別展『春の小川』の流れた町・渋谷一川が映し出す地域史」白根記念渋谷区郷土博物館・文学館



1956年6月現笹塚3-2付近



1956年7月笹塚中央百貨店

「笹塚の歴史」

その昔、甲州街道の両側に塚(盛土)があり、その上に笹が生い茂っていたことが「笹塚」と呼ばれるようになった由縁といわれています。また、私たちが普段使用している笹塚駅は、大正2(1913)年に京王線が笹塚～調布間に開通したことにより誕生しました。この線路は大正4年には新宿まで延長しました。

「甲州街道」

甲州街道はその昔「甲州道中」と呼ばれていました。この街道が脚光を浴び始めたのは徳川氏が天下を取り、政治の中心が江戸に移ってからとされています。

昭和4～5年ごろに拡幅工事が始まり、この工事を皮切りとして周辺の町並みなど大きく変化してきました



1968年7月笹塚駅



1970年1月甲州街道



1959年8月玉川



1959年8月玉川



1963年11月玉川

「玉川上水」

玉川上水は、神田上水や堀井戸による水の供給不足を補うため、承応3(1654)年に造られました。工事を請け負った庄右衛門、清右衛門兄弟はその功により「玉川」の姓を賜ったとされています。現在では区内の玉川上水のほとんどが暗渠化(地下に設けられ、外から見えないようにすること)されてしまいましたが、今でも笹塚駅近くの一部が当時の面影を残しています。



私のおすすめの1冊！

今回は、中央図書館 児童担当のおすすめの1冊です。

『地球最北に生きる日本人 イヌイト大島育雄との旅』

中学生から 武田 剛 フレーベル館

地球最北の村、シオラパーク。ここで昔ながらの狩猟生活を送る一人の日本人がいます。犬ぞりをあやつり、生活に必要なものを自然の中から集めて生活するイヌイトの暮らしとはどのようなものなのでしょう？イヌイトとして暮らす大島育雄さんを取材します。



